（3）循環型経済への対応（水資源の有効活用、廃棄物削減など）

①水資源の有効活用

本投資法人及び本資産運用会社では、水資源の効率的な利用推進を図るため、節水や中水・雨水の再利用等により水使用量の削減に努めています。

保有物件における節水事例

- 使用状況に応じて洗浄水量を調整するAI搭載の小便器の使用
- 洗浄水量6Lの超節水型大便器の使用
- 洗浄水への雨水の活用
- 洗面台自動水栓の採用

実績

本投資法人の保有物件の水使用量の実績値は以下の通りです。(注1) (注2)

	使用量（千㎥）	原単位（㎥）
2019年	410	1.20
2020年	338	0.95
2021年	330	0.86
2022年	391	0.95
2023年(注3)	411	1.02
うち、地下鉄湧水及び雨水等を除く	✓404	✓1.01

（注1）　実績値の算出に当たり、各年の対象物件の範囲は、以下のとおりです。
・年間を通して保有している物件を対象としています（データの入手が可能な物件に限ります。）。
・本投資法人が共有持分を保有する物件については、各年の年初時点において本投資法人が保有する共有持分に相当する数値をもとに算出しています。
・以下の物件は期中取得、または期中売却物件のため2023年の集計に含めておりません。集計に含めていない理由は、2019年度からの水使用量の削減状況を比較しやすくするためであり、以下の物件の実績値を2023年実績値に含めないことによる影響は軽微です。
期中取得物件：ヒューリック王子ビル、ヒューリック小舟町ビル、ヒューリック駒込ビル、チャームプレミア田園調布、ソナーレ石神井、ヒューリック雷門ビル
期中売却物件：ヒューリック銀座7丁目ビル

（注2）　過去データの追加取得等に伴い、2019年より遡って水使用量の修正を行っています。今後、過去の実績値については、データの追加取得等伴い、過去に遡って修正する場合があります。

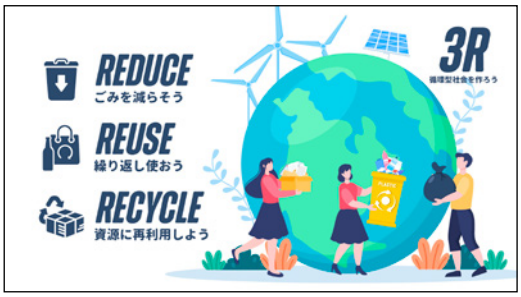
（注3）　2023年の実績値（✓）については、EY新日本有限責任監査法人による限定的保証を受けております。
・なお、地下鉄湧出水及び雨水等は含みません。

②廃棄物削減

本投資法人及び本資産運用会社では、テナントへの啓蒙活動等を実施することで廃棄物の削減に努めています。

保有物件または本資産運用会社における廃棄物削減事例

- ペーパーレス化の推進
- 紙類・缶類・ペットボトルなどの回収ボックスの設置等、リサイクルを推進する取組みの実施
- 自治体の定める条例・要綱等の指標に則した計画（再利用計画書等）の適切な作成・実施（PM・ビルマネジメント会社（以下「BM」といいます。）等と協働）



3R啓蒙ポスターをデジタルサイネージに掲示

実績

本投資法人の保有物件の廃棄物量の実績値は以下の通りです。(注1) (注2) (注3) (注4)

	廃棄物量（t）
2022年	1,884
2023年	✓2,863

(注1)　実績値の算出に当たり、各年の対象物件の範囲は、以下のとおりです。
・年間を通して保有している物件を対象としています（データの入手が可能な物件に限ります。）。
・本投資法人が共有持分を保有する物件については、各年の年初時点において本投資法人が保有する共有持分に相当する数値をもとに算出しています。
・以下の物件は期中取得、または期中売却物件のため2023年の集計に含めておりません。集計に含めていない理由は、2022年度からの廃棄物量の削減状況を比較しやすくするためであり、以下の物件の実績値を2023年実績値に含めないことによる影響は軽微です。
期中取得物件：ヒューリック王子ビル、ヒューリック小舟町ビル、ヒューリック駒込ビル、チャームプレミア田園調布、ソナーレ石神井、ヒューリック雷門ビル
期中売却物件：ヒューリック銀座7丁目ビル

(注2)　2023年の実績値（✓）についてはEY新日本有限責任監査法人による限定的保証を受けております。

(注3)　2023年の実績の変動は、主にデータの入手可能物件が増加したことが要因です。

(注4)　過去データの追加取得等に伴い、2022年より遡って廃棄物量の修正を行っています。今後、過去の実績値については、データの追加取得等に伴い、過去に遡って修正する場合があります。